



# 11月 えんだより



ともひび保育園 11月1日発行



## 短いけれど実りの多い秋



夏の暑さの影響か、今年は木々の葉が色づくのが遅くなっているようですが、さすがに11月ともなれば、朝晩の肌寒さをはっきりと感じるようになり、昼でも半袖の人を見かけることはなくなりました。今年は個人的に読書の秋にしようと思っていて、BOOK OFF で文庫の小説を何冊か購入しました。短い秋ですが、皆さん今年はどう過ごされますでしょうか。



10月7日(土)に第五砂町小学校の体育館にてファミリーデーを開催しました。今年度は、全年齢の園児とご家族の皆様だけでなく、こあら組や地域の皆様にも参加していただくという、ほぼコロナ禍以前と同じ形式で実施しました。

おうちの人と一緒に遊んだり体操している様子が愛らしかったひよこ組とりす組、平均台とトンネルという航海を乗り越えて宝を見つけた「海賊」うさぎ組、「手裏剣投げたらすぐ捨てる」という歌詞とみんなが拾っている姿が可愛くて楽しかった「ちびっこ忍者」こぐま組、雲梯と大縄という難関をクリアし最後は友達と協力して狼から逃げきった「子豚たち」ぱんだ組、そして全員の息が合っていてとてもキレイだったパラバルーンと、懸命にクレヨンのバトンを繋いだりして観ているものを感動させたきりん組、全員が本当に輝いていました。今回復活したコーナーゲームやお楽しみゲームも皆さんに喜んでいただけたようで嬉しく思います。これからも参加した皆さんが家族のようになって楽しく過ごすことができる日にしていきたいと思います。

10月17日にくさぶえの丘に4・5歳児と芋ほり遠足に行ってきました。当日は雲一つない青空のまさに芋ほり日和。実は予約の段階では、「今年は例年よりお芋の収穫量が少なそうなんです...」と先方に言われていたので少し不安だったのですが、どうしてどうして、実際に畑に行



って掘ってみると、太くて長いサツマイモ(紅あずま)が沢山できていました。子どもたちはそれぞれ一生懸命掘っていましたが、特にぱんだ組は初めてだから苦戦する子もいました。ただそんな時はきりん組の子どもたちが進んで手助けをしてくれて、年長組として頼もしい姿を見せてくれました。

4・5歳児の保護者の皆さん、玄関のお芋をお持ち帰りいただいた皆さん、今年のお芋の味はいかがでしたか? 子どもたちにとってこの芋ほり遠足が、神さまが私たちにくださった豊かな実りへの感謝の気持ちを育むきっかけになってくれたらうれしく思います。

園長 山田 英